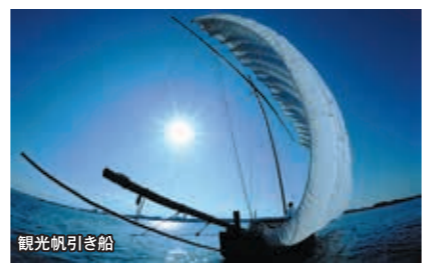


行方市の秋

湖に挟まれた大地にはおいしいものがいっぱい



西蓮寺の大イチョウ



観光帆引き船



行方バーガー

【写真提供：行方市】

注目集まる行方の「食」
豊かな大地と人々の知恵が
ユニークな名産品を生み出す

霞ヶ浦(西浦)と北浦に挟まれ、水と緑にあふれる行方市。万葉集の歌碑や由緒ある寺社があるなど、市内の随所から歴史や文化を感じることができる。

豊かな大地には野菜、水産物、畜産物など、多方面に名産品があり、今、行方市の「食」に注目が集まっている。大人気のやきいもをはじめ、地域の特産品を具材にした「行方バーガー」、ご当地丼の「megadon」など、ユニークな料理がいっぱい。地域のランドマーク・虹の塔がある霞ヶ浦ふれあいランドでは、11月18日、19日に「なめがた秋祭り」が開催され、地域の「おいしい」が一堂に会する予定だ。

秋は観光帆引き船が運航される季節。今年は9月30日から11月26日までの日程で、天王崎沖または観光物産館こいこい沖で運航されている。

紅葉の名所も多く、特に西蓮寺の大イチョウ(県指定天然記念物)は樹齢千年以上といわれている。例年11月下旬から12月初旬に見頃を迎える。

食欲の秋。行方グルメを味わいながら、湖岸観光を楽しもう。

行方市秋のコース

食欲の秋。おいしいものがいっぱいの方市は、この季節の観光にぴったり。茨城が全国に誇る紅葉の名所もある。行方の食を満喫したら、ゆつくりと体を温める。温浴施設も人気だ。

- A** なめがた秋祭り【11月18日、19日】
- B** 観光物産館こいこい
- C** らぼっほなめがたファーマーズヴィレッジ
- D** 西蓮寺
- E** あそ温泉 白帆の湯



霞ヶ浦ふれあいランドリニューアルのプレオープンイベントとして開催予定。地元の名品とたくさん出合える。



地域の特産品や新鮮な野菜がスラリ。キッチンカーが出店することも。名物「行方バーガー」はこちらで!

らぼっほなめがたファーマーズヴィレッジ



廃校を活用した体験型農業テーマパーク。館内のレストランには地元の野菜がいっぱい。季節に合わせた農業体験や、工場見学も楽しめる。



行方市マスコットキャラクター「なめりーミコト」
「行方」と「ユリ」を意味する「なめりー」が名字。「ヤマトタケルノミコト」がこの地を称賛した伝承があることから、名前は「ミコト」。



行方市の概要

2005年に麻生町、北浦町、玉造町が合併して誕生。霞ヶ浦(西浦)と北浦の恵みを受けた豊かな土地で、年間100品目を超える農畜水産物が産出され、全国に安定的に出荷されている。

名産名品

サツマイモ

糖度が高く甘みが強いのが特長で、通年出荷できる体制が構築されている。今年3月に「行方かんしょ」として地理的表示(GI)保護制度に登録された。

●お問い合わせ／行方市政秘書課 ☎0299(72)0811 企画・制作／読売茨城広告社 ☎029(244)5555

